

令和6年 能登半島地震の 経験を踏まえた 今後の備え

2024（令和6）年1月1日に発生した能登半島地震では、①厚生労働省保健指導室が管轄する保健師等支援チームと、②厚生労働省地域保健室が管轄する DHEAT（災害時健康危機管理支援チーム）の2種類の保健師派遣が行われ、全国の自治体から派遣された保健師が約5か月間にわたって活動を行った。本特集では、それらのチームで被災地支援に入った保健師の活動を振り返りながら、支援側・受援側の両面から次の災害への備えについて考えたい。

【保健師等支援チームによる支援】

- 保健師等広域応援派遣の実際と今後の展望
- 静岡県の保健師等派遣の経験と有事を想定した受援体制整備

【DHEAT による支援】

- DHEAT 派遣の実際と今後の展望
- 栃木県の DHEAT 派遣の経験と、派遣者として必要な能力と心構え

【石川県からの報告】

- 県による市町支援および受援調整の経験と今後の備え